

アマダイ通信 NO. 80b

(Tile fish network letter)

2010年 向日葵の季節に

知人・友人各位・・80号突破！革命の営業から営業の革命へ！？

梅雨明け、夏本番を迎えると、クールビズ本番。ノーネクタイ、ワイシャツの涼しいスタイルの相手方と打合せする。営業専科で専ら売込役の●、相手に合わせ同じ格好というのも気が引ける、スーツとネクタイできっちりと言うのも、落差があり過ぎだ。●流クールビズは麻混ジャケットとポリエステル混のコットンパンツ、麻混の半袖ワイシャツに編みタイ、メッシュの革靴。営業マンとしてラフ過ぎないか？気になるが、相手に悪い印象を与えない範囲で目立つのも営業。顔は変わり栄えしないが、少し涼しい。

夏バテ対策は炎天下の歩くゴルフ。熱中症対策にポリフェノールたっぷりの甜茶と塩類補給のためのアクエリアスを、氷と一緒に魔法瓶に詰め、汗だくでボールをカー一杯左右に乱れ打ち。カートに乗らず歩き通す。降圧剤も飲み、胆石もあるが敢えて逆張りで鍛える。少年の頃、夏休みは毎日朝から夕方まで日本海に浸かり、素潜りで鮑やサザエ、天草を採り、ヤスでアイナメを追いかけ、2、3回背中が剥けた。あの頃の夏には戻れないが。

アジテーション？恋文？の延長としてのネットワーク報「アマダイ通信」も今号で80号突破。営業のキーとして話術を上げる人もいるが、ネットワークが第一で、売る物もないと営業にはならない。会社員には当然売物はあるが、独立して自分でビジネスを始めるとそうはいかない。ただ、人脈と売るスキルがあれば、売物はずと集まる。売れない物、自分が売ることが出来ない物は自然と離れて行く。恋人だったら去る者は追うが、全共闘と同じで来る者は拒まず、去る者は追わず。お互いのために。

人脈も作ろうと思って簡単に出来るものではない。学生運動のオルガナイザー、つまり革命運動の営業マン、寮やクラスの世話役として自分を曝け出し、名を知られたのが奏効する。学生時代の利害の絡まない人間関係は終生変わらず。友達の友達は友達ということで輪が広がる。だが自分の商売一辺倒で紹介をお願いしても、一度はどうかなくても、二度目はいい加減にしろということになる。飲ませ、食わせ、何とかさせというのがあるが、相手に失礼だという気持ちが先立つ。やらずぶったくりということになるが、その通りで大いに気が引ける。生来の世話好き？物好きというか？金にならないところで、多少は皆のためにと考えて活動している部分を評価、応援して下さる方もいらっしゃるので、情報仲介業という変わった商売をしてられる。他に生きる術のない●としては大感謝。雪山でのスキー、酷暑のゴルフが出来る気力、体力を出来るだけ維持、多少は他人の役に立ち、皆さんと共に残りの人生を楽しみたいものです。今後とも宜しくお願い致します。

◎住宅買換特例の恩恵受け、「低所得者」に！？

7月の参議院議員選挙で、鳩山さんの後を菅総理が受け、民主党楽勝かと思いきや、菅総理が唐突に消費税増税を検討すると言い出し、国民の不興を買い、大敗。勝利した自民党も、消費税増税を方針として打ち出しているの、消費税増税を打ち出したこと自体よりも、場当たりのやり方、政治手法が国民から問題にされたということだろう。

区役所から今年度の国民健康保険料の通知があり、年額3万円強、昨年より1割以下。昨年末都心の新築マンションに転居。6千万円で買って17年住んだ小平の新築土地付き戸建が、2千3百万円でしか売れず売却損が発生、損益通算で去年の所得税が0円となり、結果住民税も0円で国民健康保険料の所得割額も0円、均等割や後期高齢者支援金分、介護分保険料は7割減の低所得者軽減税率が適用された結果だ。3年間恩恵を受ける。バブルの時に家を買った人の中には、所得が少なくなったり失業したりで、家を手放さざるを得なかった方も少なくない。買換えられえ人間だけが恩恵を受け、しかも住民税まで減免され、健康保険料まで連動するのは、景気刺激策とは言え、優遇し過ぎではないか？

欧米諸国では殆どの国の消費税率が20%台であり、日本の財政事情の悪さを考えると、消費税が現行の5%のままでいいとは多くの国民が思っていないことは、消費税10%を掲げた自民党が勝利したことでも明らかだ。しかし、住宅買い換え特例減税の見直しを含め、消費税増税の前にすることが沢山ある、議論を尽くしてからにしてくれというのが、国民の真意なのだろう。民主党にはじっくり腰据えて、先を読んだ政治をお願いしたい。

◎なぜ「人を殺してはいけない」のか？

参議院議員選で国会議員資格を失った死刑廃止論者の千葉法相が、二名の死刑囚の死刑を執行したことが波紋を呼ぶ。人が人を殺すことは許されないことを前提に、「人を殺した人」を国家が刑罰として例外的に殺すのが死刑だ。「人殺し」の権利が国家によって独占された結果、私人による「人殺し」は例外的に正当防衛や緊急避難と認められた場合を除き、殺人罪として罰せられる。死刑廃止論者は①死刑の殺人に対する抑止効果は少ない。②誤判は避けられず、最近でも宇都宮事件や名張毒葡萄酒事件のように死刑判決が再審で覆っている。③刑罰の目的は犯人の矯正による犯罪の減少にあるが、死刑により矯正の機会が奪われる。④被害者、遺族への慰謝は別途考慮されるべきと主張する。

世論調査で死刑廃止の賛否は賛成15%、反対85%。逆に言えば、八割以上は国家の手によるとはいえ「殺人」を肯定している。戦争を肯定する人も、革命権を認める人も「殺人」賛成派だ。人間も百獣の一種として、食うか食われるかの闘争を繰り返し、人間同士戦って食いあうこともあった。日常的に殺しあわなくなった後も、飢饉の時は人肉で飢えを満たし、仇討ちが奨励された時代もあったが、革命、戦争、死刑という国家権力の獲得、維持、行使の場合を除き、「人は人を殺してはいけない」という地平にまで、到達した。

何故、人を殺すことは許されないのか？法律で決められていると言う以前に、①自分や自分の家族も殺されたくないから、②人を殺すことはそれまでの自分をも壊すことだから、③相手の人格を否定することで、自分の人格も否定することになるから、ということだろう。革命権や抵抗権を認めるが、国家による殺人としての死刑は廃止すべきだと思う。そして、国家への抵抗も革命も不必要な社会を築くことで、全ての殺人が地上から消えることを望みたい。

◎ロシア穀物輸出禁止！自給率向上は必要か？

穀物輸出世界3位のロシア政府は記録的猛暑と少雨による早魃被害が拡大、穀物生産が落ち込んでいることに対応、8月15日から12月末まで、小麦などの穀物輸出を禁止した。早速シカゴ商品取引所の小麦先物相場はストップ高まで上昇した。

米を除き大半の穀物を輸入に頼る日本では、1960年の79%から40%まで低下した「食料自給率」を向上させるべきだと主張される。兼業農家を保護し、効率経営の大規模経営農家を窮地に追い込むバラマキ農政と批判される民主党政権の農家戸別所得保障制度も、食料自給率向上が前提だ。他方飼料穀物を除けば米などの食糧は余っており、野菜や果樹なども含めた農業生産額では日本は世界五位の農業大国だ。無理に自給率を向上させるより得意な作物の生産を伸ばして輸出、必要なものは輸入する、耕地さえ確保しておけば他作物からの転作で「食料危機」は克服出来る、とする考えもある。

元網元で地主、郵便局長の●の生家も山林や原野の他に、農地解放後も多少の田畑を持っていた。白神山地と日本海の間には白神の冷たい清流が流れ込み、日本海からは強い海風が吹きつけ、獲れる米は中山間部や平地に比べ、味は悪く、収量も少ない。耕作を請け負ってくれる農家もなくなり、半ば原野と化しているのは寂しいが、条件の悪い農地を無理に耕作するより、耕す以前の状態に戻すのがいい。棚田を守れ！という人もいるが、文化遺産として一部の棚田は残しても、他の棚田は違う利用法を考えるべきだ。

北大水産学部卒で外国航路の船長をした長兄が、子沢山で苦しい家計を助けようと、大学の夏休みに鋤一本で原野を開墾した畑も、残念ながら原野に戻り、今は茸や山菜を供給する。本来ある緑を回復、豊かな日本海への養分の供給源になり海の幸を涵養するのも、国土の立派な利用法だ。今は必要なら重機で原野を耕地に戻すのも簡単だ。徒な感傷に流されたり、食糧がなくなるなどと脅迫観念に煽られるべきではない。趣味の農業は別として、適地適作の大規模経営で農業の生産性を上げれば、日本農業も世界に貢献できる。

◎こまちで故郷へ！水に続き、白神の幸をJR で！

6月、父の13回忌もあり、新緑と麦秋と早苗の綺麗なパッチワークを縫い、こまちで北へ走る。東京駅の自販機で白神山地の天然水を買う。谷川岳の天然水より10円高の120円。谷川と世界遺産白神とのブランド力の差だ。車販では更に高く140円。売り子の姉さんも高いのに良く売れるという。年間販売予定の3百万本を越す勢いとのこと。

そのお礼も兼ね、加藤八峰町長とJR東日本本社に挨拶、白神の海、山の幸の販売協力もお願い、色々アドバイスを頂く。新幹線青森延伸に伴い、北東北3県振興に力入れ、特産品を発掘、首都圏で販売、それを梃子に首都圏と地方の交流に力を入れ、北米から中国への航路は横浜経由よりも秋田経由が最短と、中国輸出も視野に入れているようだ。

終って新宿住友三角ビルの、能代高校同期、小野寺研一君が社長の、住友不動産経営のどんとへ。八峰町の山本合名の地酒白瀑（シラタキ）で乾杯、故郷のために協力を誓う。

◎暑くて寒い国から来たガイドと

一昨年夏、中央アジアのウズベキスタンを旅した時の現地日本語ガイド、政治家になって母国を改革したいと言っていた元気な若者、ドニヨル君から突然のメール。その年の暮れに訪日すると言うので、日本での再会を約したが連絡なく、途上国からの来日は難しいと諦めるが、大和撫子と結婚、来日する。恋に一週間は長いのか短いのか？ツアーで一目惚れ、相手をその気にさせてしまうとは、●もあやかりたい！？日本ではチャンスをもに出来ず、一生結婚できない男女も多いのに、見上げたものだ。早速宴席を設ける。


暑くて寒い内陸国から来たムスリムなのに、お酒は大丈夫という。●御用足し？の住友

三角ビル49階どんとで、東京の夜景もつまみに、可愛い大和撫子も一緒に生ビールと白瀑の純米酒で歓待。母国で韓流寿司の経験はあるが、生魚は初めてと刺身に舌鼓。鮭も握ってもらおう。合宿教習で車の運転免許を取り、中古車販売会社に職を得る。ウズベキスタンは車が高いので日本の高品質の中古車を輸出したい、実家の車は自分より年取っていると笑う。パキスタン・アフガニスタンかドバイ経由になるがデリバリーが問題だ。JR貨物で集めて秋田港からシベリア鉄道経由はどうか？手伝い出来るかもなどと話弾む。

とても美味しかった、あんな高い建物で食事したのも初めてで感動したと、翌日早速お礼のメール。慣れない環境だが一生懸命働き、いい報告が出来るように頑張りたいと、一緒に撮った写真も添付してくれる。才能ある元気な若者が日本に増えるのはいいことだ。

◎キューバ紀行・・・一国社会主義の国へ！一国だけの社会主義？一国でも社会主義？(上)

カストロ健在の間にキューバに行きたい！ 何度かパックスツアーに申し込むが、大衆的に人気のある国ではないらしく、成立しない。今回念願かなってエアメキシコチャーター便利用、LOOK JTB の8月7日から8日間、キューバツアーに参加することが出来た。社内的には来年はないかもと言われてるらしいが、JTBに感謝！ 来年も是非続けて、この見所たっぷりの国を旅仲間、とりわけリピーターに紹介して欲しい。

共産主義の前段階としての社会主義革命は世界革命としてしか実現しないのか？一国でも成立しうるのか？成立しうるとして、共産主義に至るまでの、道筋は？などと世界のマルクス主義者が議論している間に、の見立てではキューバ一国しか「社会主義国家」はこの世に存在しなくなり、このまま一国だけで「社会主義」を続けていけるのか？その先の「共産主義社会」の実現をキューバはどのように考え？又、可能なのか？往年のマルクスボウイとしては関心を逞しくする。

プレキューバ紀行①「小さな国の大きな奇跡」へ！

キューバツアー予習のために、関連の本を2、3冊読む。「キューバ紀行・・・南の島の『社会主義観光国』を歩く」で貧しくとも心豊かに人々が暮らすキューバの現状を学び、「キューバを知るための52章」でキューバの歴史と社会主義を復習する。

1953年7月26日5時15分、165人の青年がキューバ第二の兵営モンカダを襲撃。自分たちの行動を起爆剤として市民の蜂起につなげ、バチスタ独裁政権を倒そうとした。まず学生が決起し、安田講堂攻防戦を貫徹することで、闘争を全国化・社会化するという我が全共闘の「先駆性論」と重なるが、奇襲は失敗、8人が戦闘で死亡、61人が捕らえられ虐殺された。幸運にも虐殺を免れたカストロは裁判にかけられ禁固15年の判決を受ける。

法廷で彼はその思想や政治理念を弁論で明らかにし、「歴史は私に無罪を宣告するだろう」と「革命無罪」を主張する。革命後の政策も語られ、革命を指導した運動体「七月二十六日運動」の綱領とみなされる。政策は改良主義的で、キューバ史上最も民主的と言われた1940年憲法の復活、労働者の企業利潤への参加、不正蓄財の接収等を挙げるに過ぎず、土地改革については小作人への土地分与が謳われ、土地改革さえ実行出来れば、戦後日本のようにキューバ経済も自然に発展出来ると考える。

「独立・自由・平等」を掲げる19世紀キューバ独立運動家ホセ・マルチを信奉するカストロを、アメリカはなぜ社会主義者に仕立て、東側陣営に追いやったか？書棚で長らく積

ん読だった「カストロ革命を語る」を彼の地で読もう。ラム酒のハバナクラブをストレートで、モヒートやヘミングウェイが愛飲したダイキリ等のカクテルで飲み、カストロと語ろう。ソ連が崩壊、中国も変質、アメリカの厳しい経済封鎖の中で一国社会主義は可能か？「能力に応じて働き、働きに応じて取る」社会を超え「能力に応じて働き、必要に応じて取る」社会、共産主義社会の実現は可能か？カストロとの対話で明らかになるか楽しみだ。

プレキューバ紀行②貧困は人類の敵か？経済封鎖を逆手に！

キューバ本三冊目「小さな国の大きな奇跡」を読了（吉田沙由里著、WAVE 出版）。副題の「キューバ人が心豊かに暮らす理由」がよく解る。

アメリカに経済封鎖され、砂糖と原油を融通しあいキューバ経済を支えたソ連の崩壊でGDP（国民総生産）が七割減、崩壊の淵に沈むキューバ国民の生活。最小限の配給で命を繋ぎ、トラクターの代わりに牛馬を、化学肥料の代わりに有機農業、都市の空地も耕し、自然エネルギーも有効活用、医薬などのバイオ科学でも世界の先端を行き、エコ&省エネの社会を築く。無料の教育と医療、最小限の基礎生活品の配給維持で「最小不幸社会」も実現。住宅難による多世代同居の大家族制が老後の不安も解消する、怪我の功名。したたかに生きのびる。背後には特権を求めないカストロ政権への国民の支持がある。

ソ連崩壊後の経済困難を乗り切るために進めた経済自由化と観光業振興で格差も広がるが、均しく貧しいながらもしなやかに、生活を楽しむキューバ国民。「貧困は人類の敵だ！」と革命に走り、世界革命を叫んだが、「貧しいが心豊かな」「一国社会主義」の今とこれから、光と影を学んできたい！

キューバ紀行①保険証書お持ち下さいましたか？

旅立ちの朝、何時ものようにバタバタ荷造りをする。暫く食べられないなど、早目の昼食でソーメンつるつるして、タクシーを呼び、勝どき駅から大江戸線に乗る。京成上野駅から北総線経由の京成新スカイライナーを初体験。2千4百円と在来線のスカイライナーより5百円高のせいか空いているが、日暮里から成田まで36分、乗り心地もいい。携帯でジョルダンの乗換案内みて家を出た筈なのに1時25分の集合に30分遅れる。

搭乗手続き済みで誰もいない空港のカウンターで、保険証券出してと言われる。いつもはクレジットカード付帯の旅行傷害保険があるので保険に入らないのだが、付保しないとキューバに入国できないとA I Uを勧められ仕方なく入るが、保険書類は家に忘れる。証書がないと入国出来ないかも知れません！添乗員にきつく言われ、4千円余り払い三井住友海上から英文の保険証書を貰う。死亡すれば家族が沢山保険金を貰えるからと納得。医療費がただだからとキューバ旅行する人間がいるんだと了解。健康保険に入れないアメリカ人を引き連れ、船でキューバ入国を図るマイケル・ムーア監督の「シッコ」を思い出す。

キューバ紀行②ハバナクラブ飲みながら

薄暮のハバナ、給油着陸のアメリカ合衆国国境、内陸メキシコ、岩山に囲まれたティファナの黄土色の空港と違う、19世紀の革命家ホセ・マルチの名を冠した空港の緑の絨毯にソフトランディング。入国審査は厳しく時間もかかると聞き、アメリカ帝国主義と永らく厳しく対峙して来たし、世界中から無保険の患者が殺到したら大変だと納得しながらも、他国の貧乏な病人も受け入れればいいじゃないか？カストロの一国社会主義の限界だ！な

どと思ったのだが、意外にあっさり入国審査は済む。カストロの自信か？観光振興で外貨を稼ぐためか？市場原理主義の隣国で健康保険にも入れず、「シッコ」のマイケル・ムーア監督の船に便乗してキューバ入国でもしない限り、無保険で治療も受けられず死んでいくしかない、競争地獄の敗者の群れは哀れだ。その属国ジャボンも似たようなものか？

街に街灯が少なく暗いが、半世紀前のアメリカンオールズモービルが溢れていると聞いていた割には、空港にはコンパクトな新しい車も多い。キューバで一番大きいという40人乗りの中国製観光バスは新しく、エアコンも効いている。ホテルの部屋も広く清潔、広いベッドにお湯の出るバスタブ、冷蔵庫付き、エアコンも効き快適。空港でサービスに貰ったラム酒の代表銘柄ハバナクラブのミニチュアビンを飲みながらメールを打っていると荷物が届く。バスタブで旅の汗を流し、ミニチキンラーメンで空腹を癒し寝よう！持参のポットも使える！水栓もついている。充電も出来る！数年前のキューバを教えてくれる紀行本とは少し違う。観光面だけか？ハバナの夜の闇にぼっかり浮かんだリゾートホテルで考える。明日太陽が明るくハバナの街を照らせば解る。革命キューバに会える！

◎21世紀の東大、学寮、同窓会・・・『タフな東大生』の育成目指して！

三鷹クラブ第92回定例懇談会のご案内

今回の講師は濱田純一東大総長です。最初に講演をして頂いた後、立食形式の懇親会を行います。

1960年代末、まだ学生がタフで体制に異議を申し立て、毎日がお祭りのように活気があった駒場キャンパスで、濱田総長と私は寮の後輩の活動家浅利俊明君（S43年入寮、熊高）を通じ知り合いました。S43年L I II 9Bクラスには全共闘で浅利君や大野筑波大教授が、アンチ全共闘で古田元教養学部長、副学長が論陣を張り、濱田総長や三ツ村NTT都市開発社長、岩崎元海上保安庁長官、五味元金融庁長官、久保田朝日新聞常務、伊藤東京海上常務、寮生の吉田古河電工社長等の俊秀が活発な議論を交わしていました。時過ぎて宴は終わり、濱田君は法学部へ進学、更に新聞研究所に。40歳で市民社会に復帰して10年間営業マンを経験、営業コンサルタントとして独立、本郷に事務所を構えた時、新聞研教授の濱田君と再会。彼はその後新聞研所長、小宮山前総長の下での副学長を経て昨年4月、任期6年間の東大総長に就任しました。

就任に当り濱田総長は「森を動かす。世界を担う知の拠点へ」と題する所信を公にし、「常に日本の学術の最前線に立つ大学。多様な人々や世界に対して広く開かれた存在。日本と世界の未来を担う責任感。教育研究活動における卓越性。それらを持続させていく力と体制。知に裏打ちされた強靭さを備えた構成員」という「行動シナリオ」を公表、「タフな東大生」の育成のために「留学生との交流により、異文化理解と切磋琢磨ができる仕組みの構築・展開」、「希望者全員が入居できる学生寮等の整備」、「卒業生組織との連携等によるキャリア形成を支援する取り組みの充実」を挙げ、学寮とOBを重視、連携を求めています。三分の一の留学生、三分の一の女子学生の住む6百人規模の三鷹寮を、千人規模に拡張すべく、OBに物心両面の協力を求め、卒業生との緊密なネットワークを形成しようとしています。

現在の三鷹寮ですが、一部屋8人の自治寮の時でさえアパート化が叫ばれていたのに、自治権のない個室の「宿舎」となった今、全くのアパートと化し、風呂も食堂も、売店も

なく、集える所と言えば小さな共用ホール一つと各階のラウンジがあるだけです。自治寮として未だ健在な京大の吉田寮、熊野寮と較べると、自治の学校としての寮の機能には雲泥の差があります。大学もその不足を補えていません。ゼロの地平から寮生は三鷹寮学生委員会を結成、後輩や留学生の面倒をみ、年に数回手作りのイベントを開催、時に駒場祭や五月祭にも参加、交流の輪を広げようと頑張り、三鷹クラブもお手伝いしていますが、学生同志の交流により、異文化理解と切磋琢磨できる仕組みには遠いものがあります。新プランも更に検討を加え、増築を機に、単なる「宿舎」ではなく、「寮」として求められる機能を果たせる建物としたいものです。三鷹クラブもそのために貢献したいと思います。今回の濱田総長との交流をその第一歩としたいものです。(昭和41年入寮 干場革治 記)

日時：平成22年9月8日(水) 18時30分～20時30分 (開場18時)

場所：学学生会館本館302号室(変更、千代田区神田錦町3-28 TEL 03-3292-5931)

会費：5000円(会場費、夕食代・ビール代、通信費など込み)

定員：80人(先着順、定員に達しない限り、特に連絡しません)

申込先：平賀・干場 Fax 03-5689-8192 電話 03-5689-8182

(有)ティエフネットワーク Email: tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp

◎交換留学生歓送会、二人目のタニマチ現る！

7月10日(土)夕方、交換留学生(アイコム生)の歓送会が三鷹寮で盛大に開かれ、近くのカップ鮎の鮎桶を三鷹クラブから差し入れる。S40年入寮の辰紘さん、42年の中村英さん、43年の勝部日出男さんなども一緒に参加、日本で歌手デビューのシドニー大学の留学生サラの歌、仮装、花火など盛沢山のイベントを一緒に楽しみ、寮生、留学生と楽しく交歓、別れを惜しむ。終わってから近くの和食ファミレス華屋与兵衛で、和室二間の襖を外して、盛大に二次会。今回は勝部君も参加、20万円ほどの費用を割り勘する。翌日、沢山のお礼のメールを頂く。以下はその一通と🐼の返事です。

◆干場さん、こちらはアイコム生のアルデンです。シンガポール国立大学の代表です。昨日のお奢り本当にありがとうございました！昨日だけではなく、前にも干場さんのお陰で、アイコム生は楽しい時間を過ごせました。皆はずぐに帰国しますが、これからもよろしくお願いたします。

🐼←昨日は遅くまでお付き合い頂きありがとうございます。午前様でしたが昨日は早起きして、三鷹クラブのメンバー主体で11名でゴルフしました。スコアは50+60と寝不足と午後からの雨のせいで？冴えませんでした。寮同期の山川胃腸科医院長から、前回の癌の予後のCT撮影で見付かった胆石について、色々アドバイスを頂きました。生卵を醤油で溶いてご飯にかけて食べる「玉子ご飯」は食べない方がいいとのことでした。土曜日あなたも食べたかも知れませんが、生卵と一緒に食べるすき焼きも駄目ということで残念です。お酒も余り良くないとのことでしたが、お腹が痛くなってから考えます。三鷹寮は総合大学の寮なので、三鷹クラブは文一の弁護士から理三の医師まであらゆる分野のソリューションが揃います。このプラットフォームをシンガポールも含めグローバルに組織し、世界中で社会貢献するのが僕の夢です。あなたにも参加して頂ければと思います。宜しく！

◎味は文化だ！期末試験打上げコンパ

8月末日の土曜日、期末試験も終わり、寮生が帰省するタイミングで寮委員の慰労を兼ね、コンパ。味は文化だ！国際交流のためにも自国の(食)文化を知らなくては！と渋谷の駒形どぜうでどじょうの鍋、柳川、汁、鯉の洗い、晒し鯨、日本酒を振る舞う。反捕鯨国オーストラリア出身の歌姫サラも、複雑な顔で鯨に美味しい！と舌鼓を打つ。07、08、10年入寮生と66年入寮の🐬が、世代を越えて交流。当日の参加者は 田代勇太(07年理Ⅰ、福岡)、福丸裕樹(07年理Ⅱ、宮崎西)、安宅貴弘(10年理Ⅱ、北海道・立命館摩祥)、今岡奏帆(10年文Ⅰ、静岡・富士)、野崎怜香(10年文Ⅲ、新潟・長岡)、阿部紘凡(10年理Ⅰ、大阪星光)、サラ・オレイン(08年アイコム生、シドニー大学)。

◎明日帰ります、さようなら！(留学生からのメール・・・結びに代えて)

◆干場さん、お元気ですか？ お忙しいところすみません。三鷹寮に住んでいたアイコム生呉迪です。明日中国に帰りますので、後で携帯サービスをキャンセルします。これは最後のメールだと思います。この一年間本当にお世話になりました。いつもいろいろなイベントを誘って頂いて、本当にありがとうございました。いつか中国にいらっしやいましたら、是非ご案内させていただきたいと思います。では干場さん、お元気で。

◆干場さん、この前、北京大学の卒業式に戻りましたので、今日日本に着きました。来週の金曜日にAIKOMが終わって私も中国に戻ります。今年の9月から北京大学の院生になります。日本にいた間はいろいろお世話になりました。ずっと感謝しています。ありがとうございました。お元気でね。

以上、読了ありがとうございました！再見！